

## 令和5年度第6回むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）開催報告

開催日：令和5年11月26日（日）

実施場所：穂別町民センター

令和5年度のむかわ町子ども化石くらぶ第6回を開催しました。むかわ町穂別博物館の西村智弘学芸員による「粒度表」作成の実習と、「化石博士のなりかた」というテーマの講話を行いました。

### 【5・6年生の部（午前）】

13名の会員児童が参加しました。前半では野外調査で使用する「粒度表」という道具を作りました。化石は砂や泥の粒が固まってできた岩石（堆積岩）の中から見つかります。粒度表があると、野外で化石を発見したときに岩石を形づくる砂粒の大きさをすぐに知ることができます。また、地質調査では、調査地にどのような地層がみられるかを調べますが、粒度表はその地層がどのような粒の砂や泥からできているかも手軽に知ることができます。参加者は、大きさごとにふるい分けられた砂粒を台紙にはりつけ、粒度表を完成させました。

後半では「化石博士のなりかた」というテーマで講話を行いました。化石博士とは何をやるひとなのか？日本に何人くらいの化石博士がいるのか？同じ学年の人たちのうち、何人が化石博士になれるのか？化石博士になるための道のりを、参加者といっしょに掘り下げました。



粒度表を作成する様子。学芸補助員やボランティアの協力により全員が完成させることができました。



作成した粒度表を使って、岩石標本の分類にチャレンジしました。



西村学芸員による講話の様子。

### 【3・4年生の部（午後）】

8名の会員児童が参加しました。実習は5・6年生と同じように粒度表を作成しました。「化石博士のなりかた」は3・4年生にあわせて内容をアレンジして実施しました。



自作した粒度表を使って、岩石標本の分類にチャレンジしました。



粒の大きさが違う砂は、水の中での動き方に違いがみられます。  
どのような変化があるのか、ペットボトルを使った実験で確かめました。



西村学芸員による講話の様子。

11月26日の活動では、中学生ボランティア2名、博物館ボランティア1名の方にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

むかわ町穂別博物館 学芸員 西村智弘  
むかわ町経済恐竜ワールド戦略室 主任 太田晶